

※※※※※※※※※※※※※※※※※※
※ 市長提出議案目錄（追加分） ※
※※※※※※※※※※※※※※※※※※

議案番号	件 名	頁	摘 要
報10	豊岡まちづくり株式会社第24期の決算及び第25期の事業計画に関する書類について	1	
報11	一般社団法人豊岡観光イノベーション第3期の決算及び第4期の事業計画に関する書類について	21	

報告第10号

豊岡まちづくり株式会社第24期の決算及び第25期の事業計画に関する
書類について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、別紙のとおり報告する。

令和元年6月7日提出

豊岡市長 中 貝 宗 治

豊岡まちづくり株式会社経営状況説明書

令和元年5月30日

豊岡まちづくり株式会社

事業報告

第24期

自 平成30年4月 1日
至 平成31年3月31日

兵庫県豊岡市大磯町1番79号

豊岡まちづくり株式会社

第24期（平成30年度）事業報告

事業概況

平成30年度の地場の経済環境におきましては景況感の下振れ傾向を感じつつ推移して行った様に見うけられます。また、鞆業界におきましても前年度に比べて厳しい環境局面が出始めた1年であった様に感じられます。ただ、当社にとりましては鞆ショップでの直販が年間を通して好調に推移し、ネットサイトでの販売も売上を伸ばして参りました。来客数につきましては平成29年度に大きく落ち込みましたが、今年度はネットショップでの検索によるアルチザンの周知や国道沿いへの看板の設置効果もあって回復傾向を見せました。また、リピーターの来客も増えて安定した集客を維持出来ました。

今年度の当社の事業としましては前年度と同じく、アルチザン事業では、ショップ直販を中心とした鞆販売のアトリエショップ部門とネットサイトでの鞆販売のアトリエネット部門、鞆職人養成スクールのスクールⅠ部門と豊岡市の委託業務であります鞆企業社員向けの財布革小物講座を中心としたスクールⅡ部門の4つの部門、そして学校給食配送事業では、学校給食配送部門の1つの部門で計2事業5部門に取り組みました。

アトリエショップ部門では、店頭販売で来客数の増加や購入単価の伸びにより、ほぼ年間を通して前年度を大きく上回る売上げになりました。また、財布革小物の販売スペースを増やし商品構成に動きを持たせ、購買動向に対応して参りました。その他の販売チャネルとしましては、デパート催事の売上げが落ち込みましたものの昨年より提携しました関東エリアで鞆販売チェーンを展開していますフリップ社への売上げが増となりました。

同じくアトリエネット部門ではECサイト運営に力を入れ、時宜を得たトップページの作成更新や、季節イベントでの商品特集の工夫、また、ネットアクセス者へのきめ細かい相談対応などで購買ロスを抑えて売上増を目指しました。売上に波があるものの年度後半には月間3,000千円近くまで伸ばしてきました。

スクールⅠ部門につきましては、今年度より定員を2名増やし、豊岡市内の1名を含めて、北海道から徳島県まで全国から12名の生徒がアルチザンスクールへ入学しました。1年間帆布物から革物まで鞆作りに励み、その内10名が豊岡の鞆企業などへ就職し、1名がドイツへ留学、もう1名が大阪の鞆企業へ就職致しました。講師陣も前年と同じく常勤講師2名と、東京からの短期デッサン担当講師1名の3名の体制で授業を行いました。

スクールⅡ部門につきましては、豊岡市からの委託事業であります「革製鞆・革小物生産能力育成業務」を行い、5年間事業の第4年度を終了致しました。東京より財布作りの講師を招き、1年間20回の講座を開催して、鞆企業の社員の方、延べ16社19名が受講されました。今年度、受講社員を中心に数社が財布事業を立ち上げ、また、兵庫県鞆工業組合では「豊岡財布」としてブランディングの取組みを開始されました。

その他、昨年に引き続き3月には当スクールで、日本鞆ハンドバッグ協会主催の2級と3

級の技術認定試験が行われました。これも、豊岡の靴企業が靴職人の技能向上に取り組んでいる成果と考えます。

豊岡市の委託業務であります学校給食配送部門につきましては、平成30年度より新たな契約年度を迎え、入札の結果当社におきまして令和2年度までの3年間の契約を結び、1年目として1年間学校給食を市内の小学校6校、中学校3校へ遅滞なく安全無事故で届けることが出来ました。

部門別業績状況

アルチザン事業アトリエショップ部門では、純売上高でデパート催事等の減がありましたが、ショップ直販の売上が好調に推移し、また、靴のチェーン店を目指すフリップ社の売上も伸び、トータルではアトリエショップ部門の純売上高は対前年14,530千円増(24.2%増)の74,583千円になりました。

また、売上原価は47,388千円、販売費及び一般管理費は24,183千円となり、営業利益は対前年1,110千円増(58.4%増)の3,010千円となりました。

アルチザン事業アトリエネット部門では、本格的にネット販売へ取り組み出して2年目となり1つの柱となりました。

純売上高は対前年11,463千円増(69.2%増)の28,032千円になりました。

また、売上原価は14,807千円、販売費及び一般管理費は10,176千円となり、営業利益は対前年1,704千円増(126.8%増)の3,048千円となりました。

アルチザン事業スクールⅠ部門では前年より定員が2名増えて12名の生徒が入学し、入学金・授業料収入で純売上高は対前年3,591千円増(33.7%増)の14,240千円となり、販売費及び一般管理費も増えましたが営業利益は対前年のマイナスを解消し1,724千円増の1,655千円となりました。

アルチザン事業スクールⅡ部門では、収入は市の委託料12,077千円と靴企業からの講座参加料2,499千円で、純売上高は対前年901千円減(5.8%減)の14,577千円となりました。販売費及び一般管理費は教材費の減などがあり、10,588千円となり、営業利益は対前年756千円増(23.4%増)の3,988千円となりました。

学校給食配送事業の給食配送部門につきましては、今年度新たな契約年となり、受託料の純売上高は対前年675千円増(5.9%増)の12,175千円となりました。学校給食の配送業務は4台の給食配送車を使用し、12名の従業員によって市内の小中学校9校へ給食を配送しました。

販売費及び一般管理費は対前年217千円減(2.1%減)の10,360千円となり、営業利益は892千円増(96.8%増)の1,814千円となりました。

総合業績状況

事業全体でみますと、今期の純売上高では、対計画におきましてはアトリエネット売上でマイナスとなりましたが、アトリエショップ部門が好調で部門合計1,349千円の増となりました。対前年におきましてはスクールⅡ部門で講座参加料が対前年マイナスとなりましたが、その他の部門で増収となり、対前年29,359千円増(25.7%増)の143,609千円と大きく増収となりました。

売上原価につきましては、アトリエショップ部門、アトリエネット部門の売上増により、対前年19,084千円増(44.3%増)の62,195千円となりました。

販売費及び一般管理費につきましてはアトリエショップ部門の看板作成費やアトリエネット部門の売上増による支払手数料の増、スクールⅠ部門の教材費の増があり全体では対前年4,086千円増(6.4%増)の67,894千円となりました。

よって、営業利益は部門合計、対前年6,188千円増(84.4%増)の13,518千円となりました。

また、今年度は、前年度にありました日本皮革産業連合会の皮革製造技術者養成支援助成金1,500千円などの大きな補助金収入がなくなり、雑収入として豊岡商業協同組合の利用分支配当金119千円などの432千円となり、経常利益は対前年4,556千円増(48.5%増)の13,950千円となりました。

税引前当期純利益も同じく13,950千円となりました。

税引後当期純利益は法人税、住民税及び事業税が3,770千円となりましたので、対前年2,956千円増(40.9%増)で、10,180千円の増収増益となりました。

これにより、繰越利益剰余金の累積赤字額4,532千円が解消され、繰越利益剰余金を5,647千円計上することができました。

事業につきましては、アトリエショップ部門の中で多様な販売チャネルによる展開が今一つ伸び悩み、ショップ直販の重要性が高まった年であったように思います。ネット販売業務におきましては、着実に売上を上げてきており1つの部門として立ち上がってきました。今後は実店舗とネットが更に連携しながら飛躍して行けるものと考えております。

また、スクール事業におきましては、アルチザンスクールも5年目を終え、四十数名の若者が豊岡を中心に巣立って行きました。アルチザンスクールでの熱い思いを持って今後も活躍されることを期待しています。

また、財布革小物講座では、東京からの講師と靴企業の社員の方が財布作りの技術の習得に一生懸命取り組まれました。受講企業の中には既に財布の受注生産を開始している所も出

てきております。今後も財布作りが豊岡の鞆産業の中に根付くことを目指して取り組んで参ります。

学校給食配送事業につきましては、豊岡の子供たちが健やかに成長することを願い、その思いを持ちながら、事故のない配送業務を心掛けて参りました。

当社も会社設立して24年が経ち、また、アルチザン事業を立ち上げて5年が過ぎました。ここまで来れましたのも、偏に株主の皆様や関係各位のご理解とご協力のお蔭と感謝申し上げます。

今後も更なる業績向上を目指し、役職員一丸となって邁進して参りますので宜しくお願い申し上げます。

以上

事業（営業）報告資料

1. 事業（営業）実績

◇売上高の推移

(単位：千円)

区 分		第 21 期 (平成 27 年度)	第 22 期 (平成 28 年度)	第 23 期 (平成 29 年度)	第 24 期 (平成 30 年度)
アルチザン事業		83,526	93,947	102,749	131,434
内訳	アトリエ	70,489	68,644	76,621	102,616
	スクール	13,037	25,303	26,127	28,818
学校給食配送事業		7,000	11,500	11,500	12,175
合 計		90,526	105,447	114,249	143,609

◇営業成績の推移

(単位：千円)

区 分	第 21 期 (平成 27 年度)	第 22 期 (平成 28 年度)	第 23 期 (平成 29 年度)	第 24 期 (平成 30 年度)
営業利益	7,589	5,814	7,330	13,518
経常利益	12,922	9,861	9,394	13,950
当期純利益	11,859	7,124	7,224	10,180
総資産	86,812	101,928	110,236	128,776
純資産	72,919	80,043	87,267	97,447

2. 会社の概要（現況）

(1) 資本金

資 本 金	91,800千円
-------	----------

(2) 株式の状況

発行済株式総数	1,836株
内 豊岡市保有分	918株
内 豊岡商工会議所保有分	502株

(3) 役員の状況

	役 職 名	役 員 名
1	代表取締役	やまさき としゆき 山崎 俊幸
2	取 締 役	はしもと かずのり 橋本 和則
3	取 締 役	ゆ り しようさぶろう 由利 昇三郎
4	取 締 役	うえむら けんじ 植村 賢仁
5	取 締 役	はくら よしのり 羽倉 嘉徳
6	取 締 役	あだち てつひろ 足立 哲宏
7	取 締 役	うえだ あつし 上田 篤
8	取 締 役	う の たかや 卯野 隆也
9	取 締 役	きぬがわ かつのり 衣川 克典
10	監 査 役	うきた まさひこ 浮田 昌彦
11	監 査 役	はぶ た はじめ 土生田 哉

(4) 社員（従業員）の状況

区 分	人数	構成
社 員	7	男 5名、女 2名
パート	12	男 11名、女 1名
合 計	19	

貸 借 対 照 表

平成 31年 3月31日 現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 116,099,462】	【流 動 負 債】	【 27,717,000】
現 金 ・ 預 金	100,957,205	買 掛 金	7,666,677
売 掛 金	11,835,259	未 払 費 用	510,190
商 品 ・ 製 品	1,924,465	未 払 金	837,287
材 料	478,998	未 払 法 人 税 等	2,800,000
貯 蔵 品	879,798	未 払 消 費 税 等	2,945,400
仮 払 金	140,737	前 受 金	8,320,000
貸 倒 引 当 金	△117,000	預 り 金	4,637,446
【固 定 資 産】	【 12,677,329】	【固 定 負 債】	【 3,611,805】
【有 形 固 定 資 産】	[12,242,525]	長 期 未 払 金	3,611,805
建 物	788,386		
建 物 附 属 設 備	180,735	負 債 合 計	31,328,805
構 築 物	1	純 資 産 の 部	
工 具 器 具 備 品	10,972,602	【株 主 資 本】	【 97,447,986】
土 地	300,801	[資 本 金]	[91,800,000]
【無 形 固 定 資 産】	[404,604]	[利 益 剰 余 金]	[5,647,986]
ソ フ ト ウ ェ ア	104,668	(その他利益剰余金)	(5,647,986)
電 話 加 入 権	299,936	繰 越 利 益 剰 余 金	5,647,986
【投 資 そ の 他 の 資 産】	[30,200]	(うち当期純利益)	(10,180,074)
出 資 金	30,200	純 資 産 合 計	97,447,986
資 産 合 計	128,776,791	負 債 ・ 純 資 産 合 計	128,776,791

損 益 計 算 書

自 平成 30年 4月 1日

至 平成 31年 3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	
【純 売 上 高】		
アルチザン事業収入	131,433,858	
学校給食配送事業収入	12,175,530	143,609,388
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	7,184,542	
仕 入 高	57,414,901	
合 計	64,599,443	
期 末 棚 卸 高	2,403,463	62,195,980
売 上 総 利 益		81,413,408
【販売費及び一般管理費】		67,894,894
営 業 利 益		13,518,514
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	3,312	
受 取 配 当 金	600	
雑 収 入	432,470	436,382
【営 業 外 費 用】		
雑 損 失	4,500	4,500
経 常 利 益		13,950,396
税引前当期純利益		13,950,396
法人税、住民税及び事業税		3,770,322
当 期 純 利 益		10,180,074

販売費及び一般管理費

自 平成 30年 4月 1日

至 平成 31年 3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	
給 料 手 当	28,653,561	
業 務 委 託 費	7,474,423	
法 定 福 利 費	3,329,371	
福 利 厚 生 費	599,026	
広 告 宣 伝 費	2,261,276	
運 賃	1,016,878	
旅 費 交 通 費	1,639,153	
交 際 費	490,237	
会 議 費	60,540	
車 輛 管 理 費	943,643	
通 信 費	325,930	
水 道 光 熱 費	1,406,445	
租 税 公 課	535,917	
消 耗 品 費	1,724,507	
事 務 費	1,488,631	
賃 借 料	568,434	
車 輛 賃 借 料	1,415,203	
修 繕 費	965,100	
保 険 料	904,310	
支 払 手 数 料	6,145,417	
負 担 金	197,898	
減 価 償 却 費	2,632,568	
リ ー ス 料	573,600	
寄 附 金	3,400	
教 材 費	2,024,608	
雑 費	479,818	
貸倒引当金繰入	35,000	67,894,894
合 計		67,894,894

部 門 別 損 益

自平成30年 4月 1日 至平成31年 3月31日

(単位：円)

	総 合 計	アルチザン・ アトリエ ショップ部門	アルチザン・ アトリエ ネットショップ部門	アルチザン・ スクール①部門	アルチザン・ スクール②部門	学校給食配送 事 業 部 門
I 売 上 高	143,609,388	74,583,121	28,032,312	14,240,744	14,577,681	12,175,530
II 売 上 原 価	62,195,980	47,388,376	14,807,604	0	0	0
III 売 上 総 利 益	81,413,408	27,194,745	13,224,708	14,240,744	14,577,681	12,175,530
IV 販売費及び一般管理費	67,894,894	24,183,818	10,176,293	12,585,122	10,588,766	10,360,895
V 営 業 利 益	13,518,514	3,010,927	3,048,415	1,655,622	3,988,915	1,814,635

株主資本等変動計算書

自 平成30年 4月 1日
至 平成31年 3月31日
(単位: 円)

		株 主 資 本				純資産合計
		資 本 金	利 益 剰 余 金		株主資本合計	
			繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高		91,800,000	△ 4,532,088	△ 4,532,088	87,267,912	87,267,912
当期変動額						
当期純利益			10,180,074	10,180,074	10,180,074	10,180,074
当期変動額合計		0	10,180,074	10,180,074	10,180,074	10,180,074
当期末残高		91,800,000	5,647,986	5,647,986	97,447,986	97,447,986

個 別 注 記 表

自 平成 30年 4月 1日

至 平成 31年 3月31日

1. この計算書類は、中小企業の会計に関する基本要領によって作成しています。

2. 重要な会計方針

(1) 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産・・・最終仕入原価法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・定額法

無形固定資産・・・定額法

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金・・・債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について
法人税法の規定による法定繰入率により計上しています。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引
については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式により処理しております。

3. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額 7,773,458円

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式の種類及び総数に関する事項

普通株式 当期末発行済株式数 1,836株

5. その他の注記

(1) 国庫補助金等で取得した固定資産について、取得価額から次の圧縮記帳額を
控除しております。(第18期、第19期及び第20期)

土地	26,066,398円
建物	71,248,946円
建物附属設備	25,744,945円
その他固定資産	19,711,283円
計	142,771,572円

監査報告書

豊岡まちづくり株式会社 様

監査の結果

私監査役は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの第24期事業年度に係る計算書類及びその附属明細書に関して、本監査報告書を作成し、以下の通り報告致します。

尚、当会社の監査役は、定款第4条の定めるところにより、監査の範囲が会計に関するものに限定されている為、事業報告を監査する権限は有しておりません。

1. 監査の方法及びその内容

私は、取締役等から会計に関する職務の状況を聴取し、会計に関する重要書類等を閲覧致しました。また、会計帳簿又はこれに関する資料を調査し、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書）及びその附属明細書について検討致しました。

2. 監査の結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適法かつ正確に表示しているものと認めます。

令和1年5月7日

監査役

浮田 昌彦

工生田 哉

第 25 期（次期）事業計画及び収支計画

平成 31 年度（令和 1 年度）の当社の事業としましては、前年度より部門を細分化しておりますが、同様の取組みでアルチザン事業のアトリエショップ部門、アトリエネット部門、及び鞆職人養成のスクールⅠ部門、財布革小物製作講座のスクールⅡ部門、そして学校給食配送事業の学校給食配送部門の 2 事業 5 部門となります。

アルチザン事業につきましては当社の基幹事業であり、豊岡カバンを全国へ情報発信すると共に、「カバンストリート」をインバウンドの方を含めた観光客の憩える集客地にすべく、多方面の方々と連携して参ります。また、更なる集客のための誘導表示の充実や、鞆企業の方々との新商品の協同開発など実現に向けて取り組んで参ります。

◇アトリエショップ部門につきましては

アルチザン直販店を核として、その他に、豊岡鞆のチェーン店を展開しておりますフリップ社への販売、城崎の鞆店への販売、デパート催事での販売など前年同様の多販売チャンネルで、売上増と共に国内での豊岡カバンの認知度の向上を図って参りたいと考えております。ショップ直販につきましては前年度と同様好調な来客数を維持出来るものと思い、季節催事の時宜を得た商品展開や、お客様からのアンケートによる購買動向の分析による新商品の投入などで、前年度を上回る（2.0%増）売上を目指します。ただ、フリップ社の納入企業の減少など、その他の販売チャンネルで売上の減少傾向が見られ、純売上高としましては、対前年 2,306 千円減（3.1%減）の 74,583 千円と見込んでおります。また、販売費及び一般管理費は建物等の修繕が昨年ではほぼ終わり、また事務費のランニングコスト減等もあると考え、対前年 260 千円減（1.1%減）の 23,924 千円と見込んでおります。よって、営業利益は対前年 193 千円減（6.4%減）の 2,818 千円と想定しております。

◇アトリエネット部門につきましては

前年度の平均月間売上が 230 万円となり、後半には 300 万円近くになる月も出てきておりますがまだ各月の変動が大きく、今年度の純売上高は対前年若干増の 558 千円増（2.0%増）で 28,590 千円と見込んでおります。また、販売費及び一般管理費はもう一段の広告費用の投入を視野に、対前年 955 千円増（9.4%増）の 11,131 千円と見込み、よって営業利益は対前年 742 千円減（24.4%減）の 2,306 千円と想定しております。

毎月のネット掲載業者との対策の見直しや、当社による日々のサイト掲載頁の質の向上及びネットアクセス者へのきめ細かいフォローにより購入率の向上を目指しております。

◇スクールⅠ部門につきましては

平成31年度（令和1年度）のアルチザンスクールは北海道や富山県などから12名の若者が入学しました。年々、卒業する生徒の技能も向上しており、今年度の生徒も1年後には、豊岡の靴企業の戦力になって行くものと期待しております。

前年度までの講師は豊岡出身の主任講師と、東京からのデッサン・デザインの短期特別講師、当校卒業生の講師の3名でしたが、今年度は前年度の卒業生1名が講師補助として入社し4名体制となりましたので、よりきめ細かい指導で靴作りを一から教えて行きます。その他、靴作りだけではなく、原価計算から靴業界の現状、豊岡市の目指すものなど広く学んで頂きます。

収益につきましては、12名の生徒の内1名が体調不良によりやむを得ず退学し、その減もあって授業料等収入は、対前年519千円減（3.6%減）の13,722千円となり、販売費及び一般管理費は人件費の増もあり対前年875千円増（7.0%増）の13,460千円と見込んでおります。よって、営業利益は対前年1,394千円減（84.2%減）の262千円と想定しております。

◇スクールⅡ部門につきましては

豊岡市の委託事業の「豊岡市革製靴・革小物生産能力育成」業務の運営になりますが、平成28年1月より東京から財布作りの先生をお招きし、靴企業の社員の方に対しまして財布革小物の製作講座を開催して参りました。今年度で5年度目となり最後の講座年度となりました。既に財布の量産に取り組まれている企業も数社出てきており、今年度も5月から始まります前期講座へ6社6名の企業社員の方が受講申し込みをされております。

スクール収入は、市からの委託料と参加者の受講料で、前年度より受講者が減るものと見て対前年958千円減（6.6%減）の13,620千円となり、販売費及び一般管理費は人件費の増もあり対前年1,310千円増（12.4%増）の11,899千円と見込み、営業利益は対前年2,268千円減（56.9%減）の1,721千円と想定しております。

◇学校給食配送部門につきましては

豊岡市の委託事業でありまして、平成30年8月に一般競争入札により2年7ヶ月間の業務を受託致しました。平成31年度（令和1年度）は第2年度となりまして、前年度と同じく市内の小学校6校、中学校3校の学校給食配送を行います。純売上高は第2年度委託料で、対前年1,092千円増（9.0%増）の13,268千円となります。販売費及び一般管理費は人件費の若干の増はあるものの、日々の車両点検等の徹底により車両管理費の節減に努め、対前年若干増の189千円増（1.8%増）の10,550千円と見込んでおります。よって、営業利益は対前年903千円増（49.8%増）の2,718千円と想定しております。

業務に関しましては、新人の配送スタッフには車両操作講習を開催して早期に習熟してもらい、また、運転者と助手が共に運行管理に責任を持って、日々無事故運行を心掛け、生徒児童へ安心安全をもって給食を届けることに専心しております。

◇総合収支計画

総合では、純売上高はアトリエネット部門や学校給食配送部門で売上増を見込んでおりますが、その他の部門で減と見込み、対前年2,132千円減(1.5%減)の141,477千円と想定しております。

売上原価は対前年1,508千円減(2.4%減)の60,688千円と見込み、販売費及び一般管理費は対前年3,069千円増(4.5%増)の70,964千円と見込んでおります。よって、営業利益は対前年3,694千円減(27.3%減)の9,825千円と想定しております。

また、営業外収益については大きな収入はないものと見て、前年度と同様の356千円と見込んでおります。よって経常利益は対前年3,769千円減(27.0%減)の10,181千円と想定しております。

税引前の当期純利益につきましても同じく10,181千円と想定しております。

前年度で累積損失を解消し、利益剰余金を計上出来るまでになりましたので、当年度は前年度よりは減益となりますが、しっかりと利益を確保する所存です。

アルチザン事業も5周年を終え、スクールⅡ事業の財布革小物講座も最終年度を迎えております。当社にとりましても、次年度以降を見据えて新たなステージ構築の時になって参りました。

新たな平成31年度(令和1年度)におきましても、役職員一丸となって業績向上に向けて邁進して参りますので、株主の皆様におかれましても引き続きご指導ご鞭撻を賜ります様お願い申し上げます。

以上

第25期平成31年(令和1年)度収支事業計画

豊岡まちづくり株式会社

税抜(千円)

科 目	第24期	第25期							備 考
	総 合	対前期 増減	総合(合計)	アトリエ部門 ショップ	アトリエ部門 ネット	スクール部 門Ⅰ	スクール部 門Ⅱ	給食配送 部門	
純売上高	143,609	△ 2,132	141,477	72,277	28,590	13,722	13,620	13,268	
売上原価	62,196	△ 1,508	60,688	45,535	15,153	0	0	0	
販売管理費	67,895	3,069	70,964	23,924	11,131	13,460	11,899	10,550	
営業利益	13,518	△ 3,693	9,825	2,818	2,306	262	1,721	2,718	
営業外収益	436	△ 80	356	264	0	46	46	0	
営業外費用	4	△ 4	0	0	0	0	0	0	
経常利益	13,950	△ 3,769	10,181	3,082	2,306	308	1,767	2,718	
特別利益	0	0	0	0	0	0	0	0	
特別損失	0	0	0	0	0	0	0	0	
税引前純利益	13,950	△ 3,769	10,181	3,082	2,306	308	1,767	2,718	

報告第 11 号

一般社団法人豊岡観光イノベーション第 3 期の決算及び第 4 期の事業
計画に関する書類について

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 243 条の 3 第 2 項の規定により、別紙のと
おり報告する。

令和元年 6 月 7 日提出

豊岡市長 中 貝 宗 治

決算等の状況の報告

一般社団法人豊岡観光イノベーション

事業の概要と成果

第3期2018年度のインバウンドの状況は6月大阪北部地震、7月西日本豪雨、9月台風による関空閉鎖というマイナス要因がありましたが、日本全体としては前年比8.7%増3,119万人と過去最高を記録しました。豊岡も過去最高の54,330人を記録しましたが、ボリュームゾーンである東アジアが伸びず、国を下回る6.9%の伸びに留まり、外国人延べ宿泊者数62,000人の目標は達成することができませんでした。ターゲット市場として、特に力を入れて取り組んだフランス、タイについては、いずれも好調に推移しました。

今期の経営方針として、①外国人観光客向けWEBサイト「Visit Kinosaki」の更なる集客力を向上させる、②インナープロモーションを強化し、観光まちづくりへの参加者を拡大する、③新たな事業創造に挑戦する、④メディアへの露出を増やし、認知を拡大する、などを掲げて取り組み、各事業で成果を上げてきました。

「Visit Kinosaki」については、ユーザー数が昨年度の1.2倍に成長し、18.6万人がサイトに訪問しました。城崎温泉で実施している来訪者アンケートにおいて、城崎を訪問した外国人観光客のうち、23.7%が「Visit Kinosaki」から情報をとって来訪しているという結果になり、「Visit Kinosaki」が城崎を訪問するうえでの重要な情報源に成長しました。

インナープロモーションについては、2つの新たな取り組みを行いました。一つは、地域の事業者を対象として、年間を通じて開催した「WEBマーケティング講座」、もう一つは、課題となっていた英語ガイドを養成する「ローカルガイド養成講座」です。WEBマーケティング講座がきっかけで、複数の事業者が、サイト改善・リニューアル、WEB広告運用に着手、ローカルガイド養成講座の結果、10名のローカルガイドが誕生しました。

また、新たな事業創造を目指し、コウノトリツーリズムにも着手、市場調査やプログラム開発に取り組みました。さらには、メディア露出を増やす活動として、海外メディアや旅行会社に対するメールマーケティングにも着手しました。

平成28年6月1日に設立したTTIは、昨年7月31日付けで、観光庁の日本版DMO法人に登録されました。

損益状況は、営業損失7,199千円、営業外収益10,929千円となり、当期経常利益は3,730千円、税引後の当期純利益は、3,648千円と初めてプラスとなりました。

以上、関係者の皆様方のご支援、ご協力をいただき役員・職員日々業務に取り組ましました。

一般社団法人豊岡観光イノベーション 組織概要

1. 設立日

平成28年6月1日（水）

2. 社員

豊岡市

WILLER株式会社

全但バス株式会社

株式会社但馬銀行

但馬信用金庫

3. 役員

理事長 中貝 宗治

副理事長 前野 文孝

事業本部長 藤田 尚宏

理 事 村瀬 茂高

桐山 徹郎

倉橋 建

宮垣 健生

武田 和徳

大社 充

小林 辰美

監 事 作花 良祐

4. 事業本部職員

事業本部長（理事、派遣職員） 1名

派遣職員 4名

嘱託・臨時職員 3名

5. 基金拠出額

28,700 千円

決 算 報 告 書

第 3 期

自 2018年 4月 1日

至 2019年 3月 31日

一般社団法人豊岡観光イノベーション

(一社)豊岡観光イノベーション

貸借対照表

2019年 3月31日 現在

単位:円

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
I 流動資産	28,170,822	I 流動負債	7,445,021
1 現金	58,499	1 未払金	4,021,699
2 預金	13,782,645	2 未払法人税等	82,000
3 売掛金	73,160	3 前受金	10,000
4 前払金	0	4 預り金	74,699
5 立替金	505,268	5 仮受金	3,256,623
6 未収入金	13,751,250	II 固定負債	0
II 固定資産	3,474,210	負債合計	7,445,021
1 有形固定資産	20,876	純資産の部	
・一括償却資産	20,876	I 純資産	24,200,011
2 無形固定資産	453,334	1 基金	28,700,000
・ソフトウェア	453,334	2 利益剰余金	△ 4,499,989
3 投資その他の資産	3,000,000	・繰越利益剰余金	△ 4,499,989
・差入保証金	3,000,000	純資産合計	24,200,011
資産合計	31,645,032	負債・純資産合計	31,645,032

(一社)豊岡観光イノベーション

損益計算書

自 2018年 4月 1日

至 2019年 3月31日

単位:円

科目		金額	備考
I 純 売 上 高			
1) Visit Kinosaki 手数料		648,615	
2) ツア一等売上高		5,865,247	
3) 視察売上高		1,796,013	
4) 会費収入		1,335,000	
5) 委託料収入			小計 9,644,875
・ Visit Kinosaki 運用		3,824,000	
・ Visit Kinosaki 閑散期対策事業		633,300	
・ 神鍋インバウンドプロジェクト		3,005,000	
・ 欧米豪 BtoB マーケティング		918,000	
・ インバウンド体験プログラム強化事業		2,983,000	
・ 観光施策評価指標データ収集		1,890,000	
・ 閑散期団体誘客拡大事業		11,000,000	
・ 創業支援セミナー		1,123,000	
・ フラップトヨオカ管理運営		360,750	
		35,381,925	小計 25,737,050
II 売 上 原 価			
1) ツア一関連経費		5,130,910	
2) 委託料関連経費		7,550,000	
3) 視察関連経費		629,360	
		13,310,270	
売 上 総 利 益		22,071,655	
III 販 売 費 お よ び 一 般 管 理 費			
1) 給料手当		4,446,075	
2) 賞与手当		675,900	
3) 法定福		833,096	
4) 広 告 宣 伝 費		6,605,541	
5) 旅 交 通 費		3,892,242	
6) 交 際 費		550,325	
7) 会 議 費		142,535	
8) 車 両 費		357,100	
9) 通 信 費		343,624	
10) 水 道 税		267,584	
11) 租 税 公 課		63,700	
12) 消 耗 品 費		664,849	
13) 共 益 費		240,000	
14) 賃 借 料		1,392,000	
15) リ ン ン 料		700,488	
16) 修 繕 費		64,800	
17) 保 険 料		143,150	
18) 支 払 手 数 料		1,573,254	
19) 諸 会 費		12,700	
20) 減 価 償 却 費		285,244	
21) 委 託 費		6,000,000	
22) 研 修 費		16,500	
		29,270,707	
営 業 利 益		▲ 7,199,052	
IV 営 業 外 収 益			
1) 受 取 利 息		122	
2) 市 補 助 金 収 入		8,000,000	
3) 県 補 助 金 収 入		2,587,000	
4) 雑 収 入		341,808	
		10,928,930	
経 常 利 益		3,729,878	
税 引 前 当 期 純 利 益		3,729,878	
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税		82,016	
当 期 純 利 益		3,647,862	

個 別 注 記 表

自 2018 年 4 月 1 日

至 2019 年 3 月 31 日

1. この計算書類は、中小企業の会計に関する基本要領によって作成しています。

2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・定率法

無形固定資産・・・定額法

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式により処理しております。

別紙の通り報告致します。

2019年5月28日

一般社団法人豊岡観光インペーション

代表理事 中 貝 宗 治

理 事 前 野 文 孝

理 事 藤 田 尚 宏

理 事 村 瀬 茂 高

理 事 桐 山 徹 郎

理 事 倉 橋 建

理 事 宮 垣 健 生

理 事 武 田 和 徳

理 事 大 社 充

理 事 小 林 辰 美

別紙監査の結果、適法正確である事を認めます。

2019年5月14日

監 事 作 花 良 祐

一般社団法人豊岡観光イノベーション 第4期 事業計画

事業の概要

4期目となる2019年度のターゲットは、欧米豪市場については、アメリカ、フランス、オーストラリア、ドイツを、アジア市場については、これまでのタイ、香港に成長市場であるフィリピン及び台湾を中心とした繁体字圏をターゲットに加え取り組みを進めます。

事業としては、WEBサイト「Visit Kinosaki」の更なる集客力の向上を目指すとともに、メディアへの露出を増やし、当地域の認知度を拡大します。また、海外の旅行会社へのアプローチも継続し、外国人延べ宿泊者数80,000人を目標（2019年）とします。

地域内の周遊促進、延泊促進に積極的に取り組みます。前年度作成したウォーキングマップの活用促進、ローカルガイドを活用したガイドツアー・着地型ツアーの造成と販促、飲食店の外国人受入支援に取り組みます。

また、事業パートナーとのWin-Win関係の構築、インナープロモーション（セミナー・交流会の開催、ニュースレターの発行）の強化による観光まちづくりへの参加者の拡大を図ります。

さらには、京都、大阪、姫路など他地域、他のDMOとの連携による相乗効果も狙っていきます。

そして、市民や幅広い産業、関係団体と相互に連携しながら活動の推進体制を作り上げ、「豊岡のローカル」の価値の創造、提供、向上に取り組みます。

設立して4年目を迎えます。地域の稼ぐ力を引き出す原動力になり、地域経済にプラスの影響を与えていくよう邁進していきますので、今後ともご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(一社)豊岡観光イノベーション

予定損益計算書

自 2019年 4月 1日

至 2020年 3月31日

単位:円

科目		金額	備考
I	純 売 上 高		
1)	Visit Kinosaki 手数料	1,076,430	
2)	ツアー等 売 上 高		
	・ 着地型ツアー、体験プログラム	240,000	
	・ ふるさと納税返礼品プログラム	80,000	
	・ グループツアー	4,900,000	
3)	視察 売 上 高	800,000	
4)	会 費 収 入	1,535,000	小計 8,631,430
5)	委 託 料 収 入		
	・ Visit Kinosaki 運用	3,894,000	
	・ 神鍋インハウントプロジェクト	3,424,000	
	・ 欧米豪 BtoB マーケティング	1,525,000	
	・ 観光施策評価指標データ収集	1,925,000	
	・ 閑散期団体誘客拡大事業	11,000,000	
	・ 創業支援セミナー	1,000,000	
	・ 訪日外国人向け体験プログラム強化事業	1,540,000	
	・ インバウンド地域連携事業	932,000	
	・ インバウンド受入体制構築事業	899,000	
	・ 出石ツアーバス強化事業	656,000	
	・ フラットヨオカ管理運営	374,250	
		35,800,680	小計 27,169,250
II	売 上 原 価		
1)	ツアー関連 経 費		
	・ 着地型ツアー、体験プログラム	162,000	
	・ グループツアー	4,550,000	
2)	委 託 料 関 連 経 費		
	・ 閑散期団体誘客拡大事業	9,350,000	
		14,062,000	
III	販 売 費 お よ び 一 般 管 理 費		
1)	給 料 手 当	7,752,000	
2)	賞 与 手 当	1,331,300	
3)	法 定 福 利 費	1,392,653	
4)	広 告 宣 伝 費	5,500,000	
5)	旅 交 通 費	3,000,000	
6)	交 際 費	300,000	
7)	会 議 費	150,000	
8)	車 両 費	120,000	
9)	通 信 費	350,000	
10)	水 道 光 熱 費	270,000	
11)	租 税 公 課 費	100,000	
12)	消 耗 品 費	660,000	
13)	共 益 費	240,000	
14)	賃 借 料	1,392,000	
15)	リ ー ス 料	700,488	
16)	保 険 料	150,000	
17)	支 払 手 数 料	1,500,000	
18)	諸 減 価 却 費	12,700	
19)	減 価 償 却 費	285,244	
20)	委 託 費	3,000,000	
21)	消 費 税 等	630,000	
		28,836,385	
IV	営 業 外 利 収 益		
1)	受 取 利 息	150	
2)	市 補 助 金 収 入	6,974,000	
3)	国 県 等 補 助 金 収 入	1,000,000	
4)	雑 収 入	100,000	
		8,074,150	
経 常 利 益		976,445	
税 引 前 当 期 純 利 益		976,445	
法 人 税 住 民 税 及 び 事 業 税		150,000	
当 期 純 利		826,445	